第41回（一社）日本観光研究学会 全国大会 論文発表会

査読付き発表（第1会場：第2～第6セッション、第2会場：第2～第5セッション）：発表18分、質疑応答10分、発表者交代2分
査読なし発表（第1会場：第1セッション、第2会場：第1・5～6セッション、第3～第5会場：第1～第6セッション）：発表10分、質疑応答 4分、発表者交代1分

2026年12月5日（土） 論文発表会 タイムテーブル

時間	第1会場：5号館 101教室（査読なし）	第2会場：9号館 001教室（査読なし）	第3会場：9号館 101教室（査読なし）	第4会場：9号館 201教室（査読なし）	第5会場：9号館 301教室（査読なし）
12月5日（土） 第1セッション 13:00 ～ 14:30	1 シリアル型世界遺産における周遊圏の特定 中川 秀幸 2 大阪府における観光関連施設から乳幼児支援施設へのアクセシビリティ 長谷川 明彦 3 温泉地における規制外景観構成要素としての共通アイテム設置に関する研究 近藤 佳里奈・川原 晋 4 下関市におけるウォーターフロント開発の変遷 丸山 宗志・田村 優稀 5 農業・景観・消費の地域内価値循環に着目した田園風景の持続性に関する考察 西成 典久・黄 夢蝶 6 ヘリテージ・ツーリズムにおける田園都市の街路機能とその景観 藤井 秀登	7 ホテルの立地評価における非対称性とレビュー内容に関する研究 龔 昊俊 8 感情労働が仕事パフォーマンスと離職意図に与える影響 范 昕辰・川久保 惇・金 振晩 9 地域密着型宿泊施設におけるオーセンティシティと価値共創行動 馬 永強・金 振晩・川久保 惇 10 ラグジュアリー・リゾートホテルによる自然資源の体験価値化と環境保全 吉田 雅也 11 ユニバーサルツーリズムの新展開に向けた視覚に依存しない観光の可能性 一井 崇 12 「さわる」観光体験の可能性とユニバーサルツーリズム 久保田 美穂子	13 観光回遊構造と訪問回数に関する研究動向と課題 浪川 桂一郎 14 都市集約型の産業展示イベントによる産地訪問意向との関連に関する考察 渡邊 雅也・那須野 育大・山岸 紫 15 西表島における住民の観光に対する認識についての研究 Fernandez Xenia・宮国 薫子 16 観光経験を有する移住検討者の「地域生活適合感」に関する探索的研究 小原 満春 17 インターネット調査にみるサウナ利用の実態と「サウナツーリズム」に関連する行動・選好 佐々木 啓・佐藤 充基 18 分散配置型イベントにおける回遊行動につながる条件 鄭 玉姫	19 文化資産の保存・活用と補完型地域プロデュースに関する探索的研究 石橋 仁美 20 スイーツを介したデスティネーション・ブランディングとプロダクト・ブランディングの交錯 李 ムンジョン・石黒 侑介 21 アートツーリズムによる観光トランジション 堀 桂子・橋爪 亜衣子 22 日本の城郭が有する観光資源としての価値の多面性 大嶋 淳俊 23 消費者行動モデルから採用行動モデルへ 李 根熙・蛯谷 憲治 24 観光における共通関心を媒介とした社会的紐帯 大方 優子・岩崎 達也	25 観光学に対する根源的な議論 武内 一良 26 航空・グランドサービス産業における人材育成と大学教育への示唆 石谷 昌司 27 高等学校商業科教育法における観光教育の一考察 青野 也寸志 28 初年次と卒業時調査を踏まえた高等観光教育の効果測定 新庄 瑳やか・内田 彩・杉本 興運・佐野 浩祥 29 沖縄県宮古島市における大学生の「地域課題研究」に関する基礎的考察 黒羽 義典 30 観光と徳倫理学との関係性について 原 一樹

2026年12月6日（日） 論文発表会 タイムテーブル

時間	第1会場：5号館 101教室（査読付き）	第2会場：9号館 001教室（査読付き）	第3会場：9号館 101教室（査読なし）	第4会場：9号館 201教室（査読なし）	第5会場：9号館 301教室（査読なし）
12月6日（日） 第2セッション 9:30 ～ 10:30	1 過疎地域活性化における寺院と地域内主体の関係構築プロセス 原田 弘之 2 労働者性とゲスト性からみた短期就労者の受入れ 中子 富貴子・山﨑 陽子	3 観光需要の分散に向けた行動変容意向の規定要因分析 五木田 玲子 4 がんサバイバーの旅行意向に及ぼす旅行不安要因の影響 相澤 美穂子・山田 雄一	31 江戸時代の広域周遊観光 ： 「伊勢・大和まわり」 長谷川 浩 32 観光対象としての楠公顕彰空間の形成と変容に関する研究 伊納 蒼平・岡田 昌彰 33 熊野古道伊勢路における文化的景観の歴史的変容と再文脈化の構造 小林 昭裕 34 近世の千早赤阪における楠木正成関係名所の形成 和泉 大樹	35 メタバース観光体験における観光地への愛着・訪日意図の測定指標設計 大串 恵太 36 カード形式で情報提供するWebページの観光ガイドによる活用の検討 鈴木 昭二 37 3D Gaussian Splattingを用いた大蛇山祭りのVR再現に向けた基礎検討 田代 陽豊・工藤 達郎 38 旅行会社における生成AI活用と人材育成 田原 洋樹・大森 寛文・齋藤 香織	39 地域芸術祭のアートツーリズムとしての考察 三宅 由美子 40 ワインツーリズムにおける舞台裏の選択 三浦 夕佳 41 酒蔵ツーリズムにおけるテリトーリオ・プラットフォームの形成 近藤 政幸 42 ガストロノミーツーリズムにおける体験プログラム創造に関する研究 杉山 尚美
12月6日（日） 第3セッション 10:45 ～ 11:45	5 アグリツーリズモの集積に影響する直接効果と間接効果 鮫島 卓 6 宿泊レビューに基づくホテルと旅館の顧客満足・不満の構成要素分析 山浦 ひなの・杉本 興運	7 高付加価値旅行者の訪日動機 柿島 あかね 8 費目別一人当たり観光消費額の関係性分析 鈴木 倖陽・清水 哲夫・大平 悠季	43 酒蔵の開放から観光酒蔵へ 尾家 建生 44 外部文化参照による産業遺産の再解釈 田代 俊之 45 戦間期の定山渓鉄道の沿線開発 阪東 峻一 46 旅行ガイドブックに見る茨城県観光地の変遷 正木 聡	47 地域公式アカウントによるPR動画の分類と特徴 張 靖沢・山崎 隆之 48 持続可能な観光におけるコミュニケーション効果に関する探索的研究 劉 亜氷 49 SNSが訪日中国人の観光動機に与える影響 文 思敏 50 ドイツ人旅行者が抱く日本の「地方」イメージとOTBP志向に関する考察 山口 紗和・石黒 侑介	51 観光まちづくりにおける「文化の力」の試論 小林 裕和・フジノ ケン・清水 哲夫 52 移住前段階における住まいと地域コミュニティへの仲介 大川 朝子 53 地方移住支援メディアにおける移住体験談の特徴に関する考察 石川 美澄・堀内 史朗・小原 満春・森重 昌之 54 地域のライフスタイルを起点とした観光に関する一考察 神奈川 靖如・小泉 大輔

＜昼休み　11:45～12:45＞

2026年12月6日（日） 論文発表会　タイムテーブル

時間	第1会場:5号館 101教室（査読付き）	第2会場:9号館 001教室（査読付き）	第3会場:9号館 101教室（査読なし）	第4会場:9号館 201教室（査読なし）	第5会場:9号館 301教室（査読なし）
12月6日（日） 第4セッション 12:45 ～ 13:45	9 若者と地域の紐帯形成に向けた歴史的建造物の整備過程と効果 黒本 剛史・中島 直人 10 高崎白衣大観音の参道空間の変遷 井田 耕平・山本 清龍	11 日本における運営委託会社の分類とTPO概念の再検討 田村 公孝 12 震災復興観光から持続可能な観光地経営への転換 森下 俊一郎	55 災害復興都市計画にみる「まちづくり」 関口 伸一 56 災害伝承施設の評価指標に関する検討 庄子 真岐 57 災害ボランティアツアー実施団体の実態把握に向けた基礎的研究 中村 勇太朗 58 東日本大震災の二次避難における初動の研究 清野 薫	59 自治体調査とエリア消費データによる観光消費額の推計値比較 有馬 貴之 60 フードツーリズムに資するラーメン店のUGCを用いた店舗特徴の抽出 小口 貴之・合田日向寺 祥子 61 反復型アンケート調査を用いた観光需要予測手法の検証 那須 將・堀江 卓矢 62 宿泊需要の谷月における国内・インバウンド需要の寄与分解 松本 百加里	63 地域連携PBLの継続による実践変化と発展プロセス 今野 久子 64 「観光地としての廃墟」の成立条件の検討 関根 礼乃・神里 達博 65 地域資源の活用を通じたホスピタリティの形成に関する研究 金 旼柾・川澄 厚志 66 歴史的建築物を活用した商業施設の歴史性と商業性の評価 関 桃萌・直井 岳人

時間	第1会場:5号館 101教室（査読付き）	第2会場:9号館 001教室（査読付き・なし）	第3会場:9号館 101教室（査読なし）	第4会場:9号館 201教室（査読なし）	第5会場:9号館 301教室（査読なし）
12月6日（日） 第5セッション 14:00 ～ 15:00	13 若者のシビックプライドと地域に対する関係継続意向との関連 藤井 善仁 14 定住人口に至る移住プロセスの可視化に関する基礎的研究 清水 一樹・川澄 厚志	15 安井息軒『読書余適』に眠る観光資源 青山 大介 67 ヴェネツィアのイメージの形成と「うつし」の拡散に関する詩論 羽生 敦子 68 「温泉文学」という兼題 舛谷 鋭	69 外国人材の役割変容と宿泊業の国際化 高橋 加織・小畑 克典・余 玫欣 70 An Exploratory Study on Investment Priorities of Cableway Operators at Japanese Snow Resorts Kei SUMIYOSHI 71 オンライン大規模データを用いた旅館業における泊食分離の実態と変化に関する分析 喜田 康之・鈴木 祥平・日原 勝也 72 国内主要宿泊地における泊食分離の現実味 倉田 陽平	73 観光的商店街の訴求要素に関する試論的研究 十代田 朗・湯浅 綾 74 大型商業施設再編期における松本市中心市街地の土地利用調査 脇園 大史・古川 智史・丸山 宗志・山島 有喜 75 都市における多文化共生の可能性 堀内 史朗・森野 真理 76 市民の都市計画への理解増進に向けた都市計画遺産ツアーの試み 佐野 浩祥	77 小泉政権期における観光立国政策の形成過程 佐藤 樹生 78 明治後期の外客誘致に係る喜賓会からの政府への要請と組織的限界 野瀬 元子・手嶋 潤一 79 1930年代の国際観光政策における温泉地の近代化 内田 彩

時間	第1会場:5号館 101教室（査読付き）	第2会場:9号館 001教室（査読なし）	第3会場:9号館 101教室（査読なし）	第4会場:9号館 201教室（査読なし）
12月6日（日） 第6セッション 15:15 ～ 16:15	16 大規模災害後の復興フェイズの移行に伴う観光ガイド事業の変容 菅野 正洋・小堀 貴子・川原 晋 17 復興ツーリズムにおける情動 齋藤 千恵	80 旧伊藤伝右衛門邸における来館者数データを用いた観光的活用の実態に関する考察 篠原 尚子 81 長野県信濃町における健康・観光事業の展開と森林資源の活用 四方 邦宗 82 大河ドラマ舞台地の自治体における活用モデルの分析 中村 忠司 83 旅館業の価値創造とデジタル活用に関する一考察 大野 富彦	84 日本におけるメディカルツーリズム 山口 和宣 85 人新世における気候・健康リスクと再生型ツーリズム 片瀬 葉香 86 国内に広がり始めたゴルフツーリズムの現状と考察 遠藤 正 87 国際環境認証ブルーフラッグの導入・活用モデルに関する国際比較研究 平田 徳恵・片山 清宏	88 ハワイの新たな環境税(Green Fee)の特徴 吉原 俊朗・伊藤 雅 89 日本版DMOにおける意思決定権限の階層化 柏木 千春 90 日本版DMOにおける制度理念と実態の乖離 高橋 一夫 91 観光専門行政人材の形成過程とディレクション能力に関する研究 室岡 祐司